

「いける？」

文&写真 学生記者 高瀬杏菜(法学部2年)

突然だが、わたしは大阪生まれである。
幾度も引越しをして大阪を離れたが、やはり生粋の大阪人である。
帰省する長期休暇中は大阪弁に触れる機会が多くなり、休暇明けは大阪弁交じりの会話になる。



大学入学を機に上京して以来、東京にいるのだから関東弁を話すべきなのではないかと思った時期もあったが、やはり自分には大阪弁が合うのだろう。友人とおしゃべりをすると、大阪弁のほうが似合っているよ、とよく言われる。

引越しをしたあと、寂しさを紛らわせてくれたのは、ほかの何ものでもない、たまに耳にする方言だった。あのぬくもり、優しさが何とも言えない。何度も方言が恋しくなった。

ひとくちに日本語とくくるが、ときには外国語にすら聞こえてしまうのがなんとも不思議なところである。

方言とは、優しさであると思う。好きな言葉は「いける?」。大丈夫? と問いかけるときなどに使う言葉。大丈夫よりも優しい感じがして、落ち込んでいるときに聞くと、とても安心する。

わたしは今、こんなことを考えている。同じことを言っても、言い方で印象や説得力が違う。

これからも、大阪弁に誇りを持って、いつまでも大阪弁ユーザーでいたいと思う。



■JR大阪駅発車メロディー

JR西日本の大阪駅・大阪環状線ホームでは、発車時のメロディーに歌手の故やしきたかじんさんの代表曲「やっぱ好きやねん」の一節を流している。

■博多弁で場内アナウンス

プロ野球の「福岡 ヤフオク!ドーム」では、地元ソフトバンクホークスの攻撃中、「ファウルボール 危なかよ～」と呼びかけたり、ヒットが出ると「すごか～」と博多弁のアナウンスがある。(4月末のどんたく博多デー)